



日本の暮らしに、おかえりなさい。
株式会社 戸田工務店

住所：〒440-0862 愛知県豊橋市向山大池町19-5
 電話番号：0532-53-1084
 担当者：戸田 桂一郎
 主要業務：総合建設業
 ホームページ：http://www.todasanchi.com

目指すゴール



TODAは、1960年に大工として創業。そこから、地域の工務店として東三河を中心に家づくりや店舗づくりを行ってきました。古民家・古材の魅力に魅せられ、40年ほど前から店舗や住宅に古材を『飾り』として取り入れてきた実績があります。

近年は奥三河と言われる新城市・東栄町・設楽町・豊根村を中心に、空き家（主に古民家）問題を解決すべく奮闘中。戸田工務店の会長が理事長を兼務する、一般社団法人 愛知県古民家再生協会と特定非営利活動法人 奥三河田舎暮らし隊の二法人と連携し、空き家を処分したい人と田舎に移住したい人や古民家が欲しい人とをマッチングし、空き家の課題解決を建築を通じ模索中です。

古民家に手を入れる際大工さんの技術は不可欠です。且つ、この大工さんは誰でも良い訳ではなく、少なくとも墨付け・刻みの経験値が必要です。若手の大工への技術の継承も今後事業を進めていく上で重要になってきます。



2020年3月に新城市と空き家等古民家の活用に関する包括連携協定を愛知県古民家再生協会として初めて締結。【上記写真】同様の協定を、東栄町・設楽町・豊根村と2020年内に締結済。



ご縁があり、新城に建っていた解体処分される運命にあった古民家をアメリカへ移築することとなりました。若手大工も技術さえ身に付けばアメリカで仕事ができるという夢が現実味を帯びてきました。【上記写真】



5名の20代若手社員大工へ定期的な座学を行いながら、墨付け・刻みの現場を可能な限り存在させ、技術を継承させていく。心技体を持ち合わせた、今の時代に必要とされる大工を育成していく。【左記座学と刻みの風景】

SDGsの取組み紹介

ゴールに向けたTODAの取組み

- その場で利活用できず解体される運命にあった古民家から古材を取り出し、有効活用。古材等をむやみに廃棄処分しないことは、炭素の固定化に繋がり、且つ古材を資源としてリユースすることは環境負荷を少なくすることに貢献できる。
【ゴール：7・12・13】
- 奥三河の空き家（古民家）の情報と弊社の古民家再生・利活用の経験を合わせ、更に全国の古民家再生協会のネットワークも駆使し、地元の手放したい人と全国からの手に入れたい人とのマッチングを行うことは、空き家の課題解決に貢献できる。
【ゴール：11・12・17】

- 日本の木の建築文化をまずは一便目が届いたアメリカへ伝える。アメリカにはない継手や仕口という接合方法を若手社員大工を中心に伝承。将来的には若手大工がアメリカで大工講師としてデビューを目標にする。
【ゴール：8・17】
- 大工を魅力ある職業とするためには技術の鍛錬は勿論、技術の認知が今以上に必要であると考えている。この技術を今回の事業でアメリカ人に認めて貰い日本へ戻り、彼らの箔にし、大工という職業を輝かせていきたい。一般教養も大事であると考え、建築業に関わる諸々（環境問題・森林関連・法律・お金等）も座学を通じ伝えていく。
【ゴール：8・9・15】